

2025/7/14 (月)

朝の礼拝

聖書 レビ記 19章18節 (旧約聖書179頁)

復讐してはならない。民の子らに恨みを抱いてはならない。隣人を自分のように愛しなさい。私は主である。

あなたのように

聖書の民のルーツはベドウィン、各地を旅する遊牧民でした。季節の変化を感じながら水や草を求め、定住者の土地の辺境を旅していました。道中は獣や強盗に気も休まることなく、人里に寄れば不審者と疑われ、何も知らないで騙まされ、いさかきも絶えなかったでしょう。

やがて彼らも土地が与えられ定住するようになった時、収穫で落ちた穂をわざと拾わず、ぶどうの実も摘み尽くさず、落ちた実も拾わないようにしました。先祖が旅をして飢えや渴きに辛い思いをしたことを覚え、貧しい人や寄留者、旅人たちのためにわざと拾わないようにしたのです。

辛い体験が他者に対する復讐や恨みとなるのか、それとも他者へのいたわりと慈しみの気持ちとなるかは、まるで小説よりもドラマチックなことです。今日の聖書は隣人との関わりですが、繰り返し「私は主である」と最後にあります。互いに愛し合うとは主が共にいる奇跡なのです。

そして学院聖句と同じ「隣人を自分のように愛しなさい」とあります。これは「自分自身を愛するのと同じ程度に」の意味ではなく、原文は「あなたのように」です。「あなたが愛されているように」、神に愛されている同じ人間だから、主が共にいるから互いに愛するようになるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたに赦され、生かされている恵みに感謝します。四月からの新しい学びは、夏休みまでの一週間あまりとなりました。あなたの目に見えない導き、そしてあなたが共にいて、互いに励まし学びを深めてきました。私たちには日々誘惑や試練がありますが、どうかわたしたちの過ち、怠りを赦し、あなたが共におられる喜びと感謝に与らせてください。また今、病にある方々を覚えて祈ります。どうかひと時でも早く共に喜びの日を迎えることができますように導いてください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン